

四谷地区協議会だより

No.

14

第14号

平成28年4月発行



—ぼいす—
Voice

新宿園町会界限

10

町会紋の入った半纏

11

12



新宿園町会掲示板

10

医大通り

11

17

本塩町界限

15



16

16

17

ブラジル料理「サッシペレレ」

15

本塩町地域交流館

比丘尼坂(びくにざか)

特集

霞ヶ丘町会
メモリアル



詳しくは4~5頁をご覧ください



こんにちは町会長さん！...

皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。
今回は**本塩町**と**新宿園**です。

Q1 地域の名物・名所、ご自慢をお教えください！

本塩町町会

樹齢350年以上の天然記念物の椎しいの木が、昭和59年に雪印乳業前から明治公園に移植されました。国立競技場新築後は、再度以前の場所に移植される予定です。

新宿園町会

当町会には昭和初期に町名の由来となった遊園地「新宿園遊園地」があり、閉園後分譲され昭和6年に現在の町会が結成されました。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白ごぼれ話を教えてください！

本塩町町会

本塩町防災コミュニティの防災訓練に力を入れています。町内の大手施設および老人クラブなど、平日の昼間に町内にいる人たちの訓練を年1回2月に実施しています。

新宿園町会

遊園地には人造湖、映画館、劇場、遊具施設等があり、劇場には水谷八重子（当時17歳）も出演していたそうです。

Q3 その他貴町会のPRなど、ご自由にご記入ください！

本塩町町会

戦前から残る唯一の町神輿は大正14年に新調されました。現在も町神輿として使用しており、大祭の時には二百人の担ぎ手で担ぎます。現在は町の3分の1が再開発中ですが、平成31年には完成する予定です。

新宿園町会

昭和8年当時、東洋一モダンな校舎といわれた鉄筋3階建ての旧四谷第五小学校は、新宿園町会員の監督で建築されました。また町会紋も町会員の画家によるもので、町会の誇れるものの一つです。



戦前から残る町神輿



新宿園遊園地

第1分科会 観光まち歩き実行委員会

四谷まち歩きスケジュール

テーマ	日程
四谷地域の文化施設を巡る Vol.1 ～文学座、民音音楽博物館、聖徳記念絵画館～	7月18日(土)終了! ご参加ありがとうございました
四谷地域の文化施設を巡る Vol.2 ～消防博物館、韓国文化院、東京おもちゃ美術館～	9月19日(土)終了! ご参加ありがとうございました
内藤新宿まち歩き ～宿場町・内藤新宿の風情を訪ねて～	11月21日(土)終了! ご参加ありがとうございました
信濃町駅界隈散策と神宮外苑いちょうまつり ～小さい秋を見つけて～	12月5日(土)終了! ご参加ありがとうございました
南寺町を訪ねて ～四谷ゆかりの歴史上の人物を巡る～	3月12日(土)終了! ご参加ありがとうございました
外堀の桜鑑賞と四谷見附界隈を歩く ～春の外堀 桜を満喫～	4月9日(土)終了! 広報しんじゅく3/15号掲載
甲州街道界隈まち歩き ～四谷の歴史風俗を訪ねて～	5月21日(土) 広報しんじゅく4/25号掲載

平成28年度のスケジュールは6月頃に決定します。



1日たっぷり四谷を楽しむための情報満載！
新しい「**四谷まち歩き手帖**」が出来上がりました。
これまで以上にパワーアップしたガイドをお楽しみに！

※四谷まち歩き参加者に、もれなく差し上げています。



地域力連携活動

大好評の体操教室



シニア世代の皆さん♪
転ばぬからだづくり
を始めましょう!

第2分科会では、スポーツ推進交流委員会、四谷ひろば、小中学校、町会、地域交流館、シニア活動館等、様々な団体やボランティアの方々と協力して、体操教室を開催しています！

年齢を重ねても元気に楽しく暮らしたい！それには体操が一番。

どの講座もベテラン講師を招き指導しています。

きめ細やかなボランティアによる受付・運営も特徴のひとつです。

地域力により生まれた、地域の方が望む画期的な高齢者向け健康増進講座。

「楽しいー続けたいー！元気になるー！」そんな参加者の声が聞こえる講座となりました。

ぜひ一度、ご参加ください。そして筋力と笑顔の力をアップしてください！

体操教室 誕生日物語

「年をとっても、楽しい生活をおくるために必要なことって何でしょう…」

「年をとるとだんだん外出が面倒に…」

「転びやすいから運動がこわい…」

「年齢とともに低下する筋力を維持・向上させる定期的な講座があればいいのに…」

「それも、近所で気軽に参加できる講座がいいわ…」

「そんな講座ないわね…」

ポン!!

「それならみんなで作ろう！」

こうして生まれた体操教室は、四谷地区7会場で定期的開催されています。

予約なしでいつでも、どの会場に参加してもOK！

気軽に始められます。さあ、今日から早速参加しては？



平成28年度 四谷地区協議会主催 健康体操予定表

申込みなしでいつからでも、ご都合に合わせて参加できます♪



会場名	開催日	受付時間	体操時間	参加費
四谷ひろば	毎週火曜	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
		四谷ひろばでは、初回の受講に際し「大人のサロン」入会金（1年間有効500円）が別途必要となります。入会後は「大人のサロン」の他の講座の受講も可能です。		
★信濃町シニア活動館	毎週火曜	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
若葉地区（ライトコート四谷）	毎週水曜	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
★本塩町地域交流館	毎週金曜	9時45分～10時	10時～11時	1回200円
★新宿地域交流館	第1・3火曜	9時45分～10時	10時00分～11時30分 (体操+講義) 体によいお話の時間があります	1回200円
	第2・4木曜	10時15分～10時30分	10時30分～11時30分	
●四谷中学校・花園小学校	土曜日	9時45分～10時	10時～11時	1回200円

★印の地域交流館、シニア活動館の会場にご参加の方は、初回に各館の利用登録（無料）が必要です。身分証明証（健康保健証等）をご持参ください。

●花園小学校・四谷中学校会場は、学校と協議の上約3ヶ月ごとに会場が決定されます。開催日については必ず事務局へお問合せの上ご確認ください。

※霞ヶ丘町会集会所は、平成27年9月末日で終了しました。

霞ヶ丘町会メモリアル

霞ヶ丘町今昔



終戦直後の補助24号通り

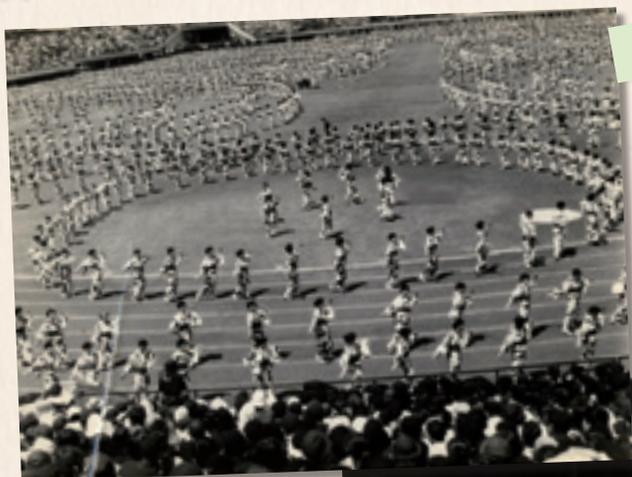


日本青年館付近



渋谷川から国立競技場を望む

町会の思い出



国立競技場での大民謡大会



年末恒例のもちつき



2020年東京五輪のメイン会場となる新国立競技場。19年11月の完成を目指して、本年12月から本体工事が始まります。また周辺のエリアも、立て替えや、開発が計画されています。

そのひとつが、都営団地「霞ヶ丘アパート」です。今年2月から解体が始まり、跡地は国立競技場に隣接する「新明治公園」となる計画です。同時に四谷29町会のひとつであった「霞ヶ丘町会」は、平成28年1月末に町会の解散届を新宿区に提出し、長い歴史に幕を閉じることになりました。

2月下旬、霞ヶ丘町会最後の町会長となった井上準一さんにお話をうかがいました。

「私がここに移り住んだのは昭和24年。当時は総戸数100戸ほどの都営住宅でした」

敷地内の米屋、魚屋、パン屋が並び



お祭り

競技場の前で



2016年

毎月発行されていた「霞ヶ丘町町会ニュース」やお祭りの頃に発行されていた「祭礼ニュース」も幕を閉じることに



角で、井上さんの父親が青果店を開店。その後、昭和39年の東京オリソニック開催を前に36年頃から立て替えが始まり、42年頃には10棟300世帯の霞ヶ丘アパートが完成しました。以来6号棟のマーケットに店を移し、50年に渡ってこの地で商売を続けてきました。

「任人は、約100世帯が渋谷区神宮前、約80世帯が新宿区百人町など、別々の公営住宅などに移転しました。私自身も霞ヶ丘町での65年の思い出を胸に、新天地でがんばっていきたいと思います」(井上さん)

もうひとり、かつての霞ヶ丘町を回想してくれたのは、アパート内で雑貨店を経営していた甚野公平さんです。甚野さんは生まれも育ちも霞ヶ丘。ちなみに甚野さんは子どものころ、9人兄弟で野球チーム「ジンローズ」を結成、漫画のモデルになったこともあるそうです。

「昔から緑豊かな町でした。家の前には池があり、渋谷川という川も流れていました。子ども同士の支えあいがあり、喧嘩しながらもとても仲が良かったです。大人になっても任人同士の温かい交流がありましたね。それだけに、いつまでも残ってほしい町でした。さみしいですが、これからは心は霞ヶ丘にあります」

四谷駅前地区 再開発事業がスタート! どんなまちができますか?

1日の乗降客約30万人を誇る

JR及び東京メトロ南北線・丸ノ内線四ツ谷駅の北西側に位置し、東側を外堀通り(環状2号線)、南側を三栄通りに面して、緑豊かな史跡江戸城外堀に面した立地です。四谷第三小学校跡地など大規模な低・未利用公有地を含む東京ドーム1/2個分(約2.4ヘクタール)が対象になっています。



四谷駅前からの完成イメージパース



外堀通りからの完成イメージパース

Q3

今後の予定は?

A 現在行われている四谷駅前地区の再開発は平成31年度までに完成する予定です。引き続き周辺のみならずとコンセンサスを取りながら、今後もまちづくりを進めていくことになるでしょう。今後の進捗については、その都度お知らせしていきます。

- 平成16年 四谷駅前地区まちづくり協議会発足
- 18年 四谷駅前地区再開発協議会
- 19年 新宿区が都市マスタープランを策定
- 25年 都市計画決定(「四谷駅周辺地区地区計画」)
- 26年 都市計画決定(「四谷駅前地区第一種市街地再開発事業」)
- 26年 事業計画認可
- 27年 権利変換計画の認可
- 28年 着工予定
- 31年 竣工予定

声

「開発が本格的に始まり、四ツ谷駅前の景色が一変して驚きました。これからどんなまちができるのでしょうか?」。平成28年に入り、商店の移転や立ち退きも完了。本格的な工事が始まっている四谷駅前地区について、そんな声が寄せられています。その声に代わり、地区協議会広報が、新宿区都市計画部防災都市づくり課に聞きました。

Q1

四谷駅前地区再開発事業の概要をおしえてください。

A 正式名は「四谷駅前地区第一種市街地再開発事業」といいます。そもそも平成16年に「四谷駅前地区まちづくり協議会」が発足、四ツ谷駅前の、四谷一丁目、本塩町、四谷坂町及び三栄町の一部においてまちづくりが話し合われています。その一部として現在、四谷一丁目のおこなわれているのが、四谷駅前地区第一種市街地再開発事業です。

Q2

どんな施設が建てられますか?

A この再開発を含む一帯は都市マスタープランのなかで「賑わい交流の心」に位置づけられています。メインの建物は地上31階地下3階の業務タワー棟(仮称)です。ここは事務所や店舗などが入居予定。ほかに約60戸の共同住宅が入る住宅棟、学校などが入る教育棟など中高層ビルの建設のほか、大規模な広場の設置が予定されています。そもそも同地区は区有地も含むため、スポーツができる機能や文化国際交流拠点機能の整備も予定されています。



「四谷駅前地区まちづくり協議会」の範囲図

内藤とうがらしとは...



その昔江戸時代の内藤新宿一带は秋になると内藤藩の栽培するとうがらし（上を向いて実る八房という品種）で赤い絨毯が敷かれた様な光景がみられました。七味とうがらし売りの口上でもその名は全国的に知られています！

四谷の名物であった「内藤とうがらし」は、残念ながら現在の四谷界隈ではこの活動が始まるまで栽培されなくなっていました。四谷地区協議会では、四谷の皆様と楽しみながら育て、背景である歴史・文化・地縁をご一緒に考えていくことを主旨として「内藤とうがらし」の復活を目指しています。

「ないトーン一家」のご紹介♪



四谷で生まれ育った僕、「ないトーン」
 四谷の歴史を知る物知り「じいトーン」
 昔ながらの生活の知恵を現代に伝える優しい「ばあトーン」
 辛みのパンチがたくましい「ちちトーン」
 ピリ辛のツツケながら、やさしい「ははトーン」
 天真爛漫で料理上手な「よめトーン」
 まっすぐに天に向かい元気良く育った「にいトーン」
 僕のかわいい甥っ子。小さいのに早くも辛い「ちびトーン」

©YoneYumi

第3分科会

生活環境・まち美化を考える
 (みどり・環境・リサイクル)

第3分科会では、みどり・環境・リサイクルを地域住民の視点から考え活動しています。平成28年度の活動は、この春から早速スタート！5月14日(土)には四谷ひろばで「内藤とうがらし」の苗の頒布を行います。

- 頒布日** 平成28年5月14日(土)
10:00 ~ (苗がなくなり次第終了)
- 会場** 四谷ひろば (旧四谷第4小学校)
新宿区四谷4-20
- 頒布数** 650苗 (先着順、1家族様4苗まで)
※1苗100円
- お願い** 資源再利用推進の為、
持ち帰り袋を用意してください
- お問合せ先** 四谷特別出張所内
四谷地区協議会事務局
電話 3354-6171



ちいきの窓口

四谷地区協議会では、地域活動デビューをお手伝いする「ちいきの窓口」をスタートする予定です。平成27年度はその本格始動の前に、インターネットで地域の情報を気軽に入手できる2つのサイトを開設しました。

四谷カレンダー

四谷地区協議会など地域の団体が予定しているイベントや行事が一目でわかるカレンダーです。「まち歩きツアー」「体操教室」「お祭り」など、地域の方が気軽に参加できる多くのイベント予定を掲載しています。

<http://www4.hp-ez.com/hp/428cal/page48>
 「四谷カレンダー」で検索



四谷地区町会連合会ホームページ

各町会ホームページへのリンク集や、地域のイベントと行事をピックアップした「共通のお知らせ」などがチェックできます。各町会のホームページでも独自の情報が発信されていますので、町会加入を考えている方はまずアクセスです。

<http://www3.hp-ez.com/hp/428choren/page4>
 「四谷地区町会連合会ホームページ」で検索



四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介します～



戦後70年を記念して、 戦時中の体験談を 語っていただきました

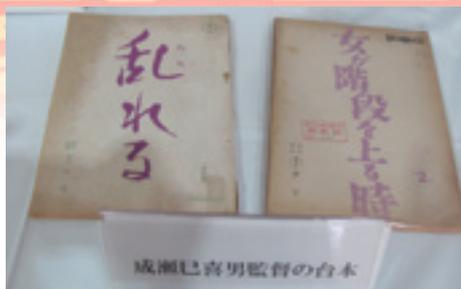
平成28年3月5日（土）、「四谷お宝さがし発表会」が開かれました。四谷地区協議会の第一分科会の活動として「四谷お宝さがし」が発足し、最初の発表会が開かれたのは平成20年。今回で9回目を数えます。

発表会では、四谷で生まれ育ち、今もファンが多い昭和の名監督、成瀬巳喜男さんがメガホンを取った映画2作品の台本や、島津家由来の古白薩摩焼の壺など、12点のお宝が出品されました。

また戦後70周年に当たる今年（平成27年度）の実行委員会企画は、戦時中の四谷がテーマ。当時を知る方々の体験談を「四谷のお宝」として、実行委員会メンバーがおこなったインタビューの内容を、ビデオなどで発表しました。

今回体験談をお話いただいたのは、83歳から94歳まで、四谷の戦前、戦中、戦後を知る5人の方々です。戦前の四谷の賑わいから、集団疎開、空襲で焼け野原になった四谷の様子、そして戦後の復興まで、四谷が経験した戦争を今に伝える大変貴重なお話をうかがいました。

そしていよいよ今年度、「四谷のお宝さがし」発表会は第10回目を迎えます。記念すべきこの回に、みなさんのお宝のご応募をお待ちしています。



◆新宿歴史博物館賞「成瀬巳喜男監督の台本」
スタッフが実際に使用していたものと見られ、ロケの日程等を記した貴重なメモなどもはさまっていたという2冊の台本。



◆新宿歴史博物館賞「古白薩摩焼の壺」
出品者の方が、アメリカ留学中に譲り受けたという壺。高さ50cmを超える大きな壺で、丸に十の字の島津家の家紋が入っています。



◆鑑定士賞「戦時中の新聞」
戦争当時、自宅の地下に掘った防空壕に保管して無事だった昭和10年代の新聞。なかには「二・二六事件」の号外も。

編集・発行

四谷地区協議会【事務局】

(四谷特別出張所内)

〒160-8581 新宿区内藤町87番地
電話 3354-6171 FAX. 3350-9403
E-mail: yotsuya@city.shinjuku.lg.jp

編集後記

◆四谷駅前再開発が本格的に始動した。「賑わい交流の心^{しん}」をコンセプトに、住む人働く人や、観光客などの来街者にも安心安全なまちを目指している◆開発計画はまだ途中だが、近隣住民の住みやすさや暮らしやすさにも目を向けた新しいまちが生まれることを、みんなが願っている◆新しいまちが誕生する一方で、霞ヶ丘町会は70年余りの歴史と暮らしにピリオドを打った◆3号棟の横に馬頭観世音の石碑がある、ここには旧兵舎の馬小屋があったそうだ。あたりには雑草が生え、兵どもの夢の跡の感がある◆新たな施設に生まれ変わっても、この地に霞ヶ丘町会があったという碑とこの碑だけは残してほしい。

広報リーダー 野澤秀雄



霞ヶ丘団地内にある馬頭観世音の石碑

次号は平成28年11月発行予定です。